

『 感覚 と 感情 』

校長 水野澄雄

2週間という短い夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を継続して行い、通常の学校生活に戻れるように、みんなで努力していきたいと考えています。

さて、1学期終業式でお話したことの復習をしてみましょう。感覚と感情についてです。

感覚とは何か。五感とはよく言われます。視覚、嗅覚、味覚、聴覚、そして、触覚。他に感覚があるのでしょうか？…

それに対して、感情です。いわゆる喜怒哀楽。他にも感情は、たくさんありそうですね…

この感覚と感情について、考えてもらいました。例をあげてみます。ある人が、椅子につまづいて足をぶつけました。痛いという同じ感覚でも、人によってその感情は変わります。同じ人でも、そのときの気分や状況によって、感情が変わることもあるでしょう。



感覚について言えば、やはり人によって、あるいはそのときの気分や状況によって、感覚が変わることもあります。どうですか?感覚と感情についての関係、難しいですね。

感覚と感情は、それぞれどういうもので、お互いどういう関係なのでしょう。

感覚に支配される感情は、あるのでしょうか。

感情で感覚を押し込めることができるのでしょうか。

感覚から感情につながり、次は何につながるのでしょうか。

生徒のみなさんには、感覚にも感情にも豊かな感性を持ってほしいと思います。心に余裕がないとそうはできません。そして、感覚、感情は人によって違います。友だちの抱いた感覚、感情をどれだけ理解し、受け入れられるかを大切にしてほしいと思います。これも、心に余裕がないとそうはできません。みなさんの、未来にはばたく、大きな可能性を応援しています。

『 お知らせ 』

昨年度3月からの休校による各教科授業の未履修部分と今年度スタート時点の休校、分散登校による授業時数減の回復に向けて、教育課程編成の調整をしています。文部科学省からは、「特別の教科道徳」を22の内容項目を1時間ずつやることで年間35時間から削減してよい、あるいは、総合の時間を4割程度家庭学習に置き換えてよいなどの通達がありました。

それを受け、本校としても学校行事の削減縮小をはじめ、時間割の変更等、工夫を加えています。授業時数確保の課題に苦慮しているところではありますが、特に2年生数学に特設時間割の設定の必要性が出てきました。昨年度末の未履修部分は、ある程度まとまった時期に集中して行うことで学習効果が期待できると考え、9月から10月初旬を目安に15時間数学科5人の先生を各クラス1名派遣して、特設授業を1週間の中に1～2時間取り入れます。その時間、他学年も他教科をローテーションで組み入れます。くわしくは、「授業日課の変更について」のお知らせをご覧ください。また、職員の消毒時間確保のため授業時間を45分としていましたが、2学期からは、相模原市ガイドラインの通達により、消毒場所の削減と生徒の清掃活動の段階的開始に伴い、8月31日（月）からは、50分授業とします。

また、9月より、3年生の修学旅行返金が始まります。旅行費用は、全額返金とさせていただきます。本来ならば、旅行取り消し料として、企画料7%約3,900円および返金に関わる事務手数料約500円がかかりますが、これを相模原市が負担します。今年度、このキャンセル料金を相模原市が負担しますが、来年度からは、すなわち今の2年生からは、このような状況が起こったとすれば、各家庭、各保護者が負担していただくこととなります。修学旅行そのものが中止となり、延期計画も立てられなかった場合です。ご了承ください。

【問い合わせ】 相模原市立相模丘中学校

副校長 教務主任 TEL 042(782)2310

8月6日(木) 学年集会を行いました

1年生

各クラスの代表生徒が1学期の振り返りと2学期をどのように過ごしていきたいか話しました。その後、先生達から夏休みの学習や生活習慣の事について話をしました。学年の仲間がどのような気持ちで中学校生活を送ったのか知ることのできた時間となりました。



2年生

学級委員から学年目標の発表をしました。学級委員長から、これまでの自分たちの成長と、最高学年になるために今後どうしていきたいかという話をしました。その後、各クラスの学級目標とその掲示物の発表をしました。それぞれがクラスをどのようにしていきたいかクラスみんなで発表する様子は素晴らしかったです。その後、先生から、命の大切さについての話しをしました。



3年生

学級委員と、先生による夏休みの過ごし方について発表の後、学級委員長から話がありました。その中の一部を紹介します。集会が行われた8月6日は広島に原爆が投下された日です。3年生は1年生の時から平和学習に取り組んできました。「学習の中で感じたのは今の生活への感謝です。今ここで学年集会が開けること、学校へ通えること、安全に暮らせること、自分の人生を好きなように生きられること。そのどれもが、今のこの平和の上で成り立っていることです。戦争によって崩れたり怯えたりすることのない私たちの暮らしは、「当たり前」のことではありません。今の生活への感謝を忘れないとともに、過去にあった出来事を忘れないで知ること、そして考えることが大切だと思います。それだけでも(というかそれこそが)未来へのバトンとなると思います。」平和への真剣な想いが伝わりました。この気持ちが相模丘中学校の伝統として後輩にも広く伝わってほしいと思える素晴らしい集会でした。



放送で1学期終業式を行いました

8月7日(金)放送にて終業式を行いました。その中で、各学年の代表生徒から1学期の振り返りについて話がありました。

1年生代表の横田さんからは、学級委員を中心に学年全体で2分前着席などを意識しており、委員会の人を支えて学年全体で取り組んでいきたいという話がありました。休校により遅れたスタートとなりましたが、1年生が一丸となって1学期を過ごしてきたことが伝わってきました。

2年生代表の井上さんからは、自分自身の成長について話がありました。新たに学級委員に挑戦したことにより、周りの人をまとめる大変さ、人を注意することの大変さを経験し、様々な事に対して頑張れるようになったと話がありました。新たな自分を発見できた1学期であるとともに、2学期は更に飛躍していきたいという意気込みを感じることができました。

3年代表の鉄川さんからは、当たり前が当たり前でなくなってしまったからこそ気持ちを切り替えなければならないという話がありました。文化の部の中止に伴い、実行委員長をできなくなってしまったけれど、その分、体育の部で頑張っていきたい、やるべき仕事は変わってもこれまでの経験を生かして頑張っていきたいと意気込みを話しました。3年生からの話しは、1、2年生の心にも深く刺さったのではないのでしょうか。今自分ができることは何か考えて行動できる2学期にしたいと思える1学期の締めくくりとなりました。



↑学級での様子



↑左から、学校長、生徒会長、代表生徒

8月・9月の予定

- 8月31日(月) 昼食持参、地区別下校訓練
- 9月1日(火) 給食開始、給食費集金
- 9月7日(月) 定期試験(技術・家庭、音楽、保健体育)
- 9月8日(火) 内科検診(しろやま級、3年1組~2組)
- 9月9日(水) 内科検診(2年1組~2組、3年3組~5組)
- 9月16日(水) 内科検診(1年1組、2年3組~5組)
- 9月17日(木) 歯科検診(しろやま級、2年1組~2組、3年1組~5組)
- 9月18日(金) 体育の部結団式
- 9月24日(木) 歯科検診(1年1組~5組、2年3組~5組)
- 9月30日(水) 内科検診(1年2組~5組)



保護者の皆さまへ

毎日の検温等、ご協力ありがとうございます。2学期も厳しい暑さにより、熱中症が心配されます。十分な飲み物をお子様を持たせていただきますよう、今後ともよろしく願いいたします。